

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



尾鷲を「自由研究のまち」に！

「体験型ふるさと納税」を活用した 尾鷲市の持続的な発展計画

2021年12月11日

尾鷲を盛り上げ隊
(三重県創生研鑽会 Eグループ)

もくじ

1 現状と課題の認識

2 課題解決案

3 活動記録

4 提案実現へのロードマップ^o

メンバー紹介

「尾鷲を盛り上げ隊」とは？

東京海上日動火災保険(株)主催の、地方創生を目的とした異業種交流会「三重県創生研鑽会」にて結成された、所属・年齢・個性は様々だが「I♥MIE」で強くつながる5人組である！



尾鷲

KAZUTOSHI
北村 和敏
紀北信用金庫
KIHOKU SHINKIN BANK

津

KOKORO
永石 ころろ
東京海上日動火災保険
株式会社
TOKIO MARINE
NICHIDO

四日市

TAKANORI
鈴木 貴則
日本トランスシティ株式会社
物流と人のハーモニー
TRANCY

津

MAI
伊藤 まい
三重大学
人文学部 法律経済学科
MIE
UNIVERSITY

伊勢

SHOHEI
西方 正平
株式会社赤福
伊勢名物 **赤福**

1 現状と課題の認識

1-1. なぜ尾鷲市？

研鑽会初日のグループワーク

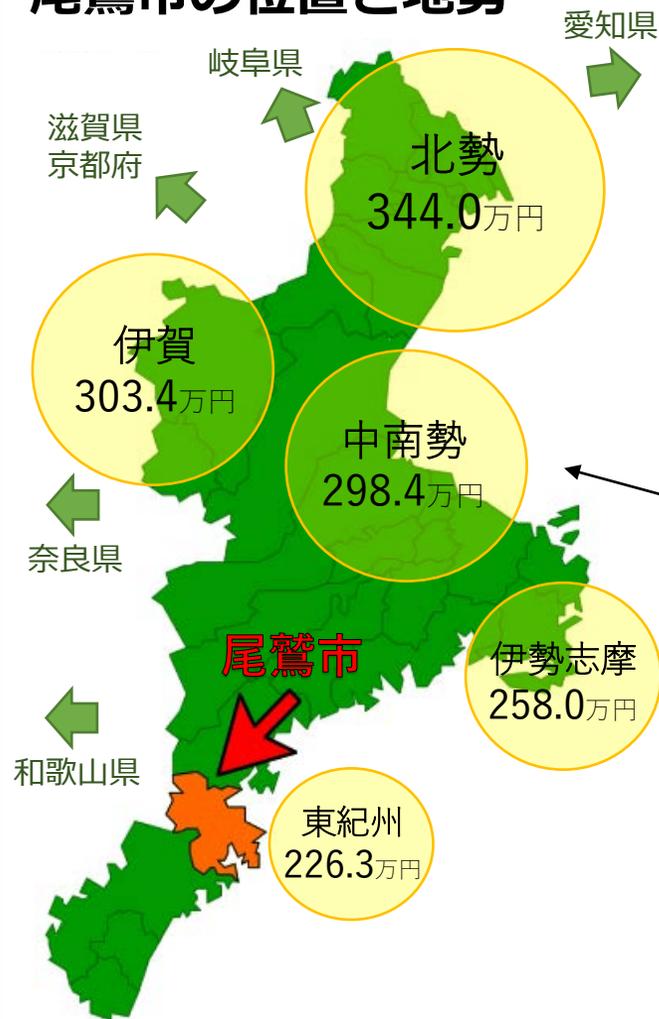
「三重の地元トーク」で盛り上がる中、**尾鷲市に在住する北村さん**が感じた、他のメンバーとの暮らしや産業面の「ギャップ」や「格差」



RESAS研修での気づきや発見

人口や地域経済等の指標で、三重県**北部と南部の大きな差**を把握した

1-2. 尾鷲市の位置と地勢



1-3. RESAS等により把握した尾鷲の課題

① 大きな南北格差

② 顕著な人口減少

③ 空洞化する産業

④ 深刻な収支

1-4. 課題①…大きな南北格差

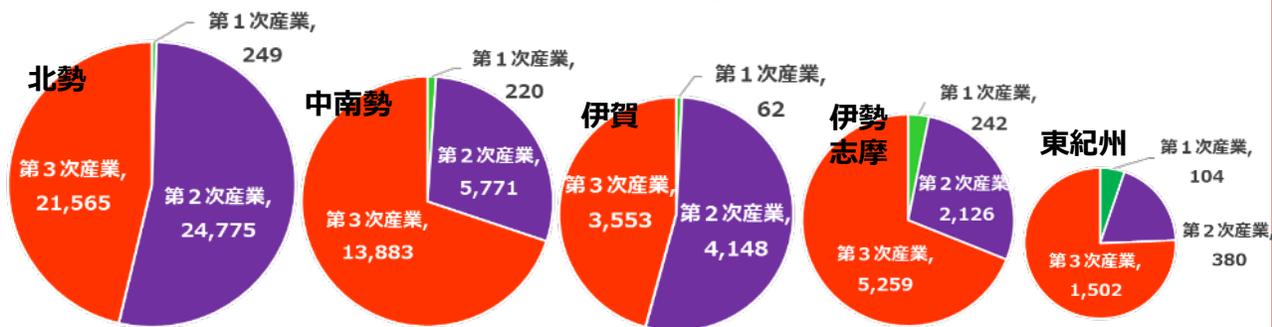
※三重県戦略企画部「平成30年度三重県の市町民経済計算」より

→**県北部と南部の、所得や経済の格差が大きい**

①「1人当たり市町民所得」の大きさ

↓②「産業別生産額」の大きさ (単位: 億円)

桑名、四日市、鈴鹿を中心とした北部は、日本でも有数の工業地帯で、工場が集積する。一方、南部は農林水産が中心の地域で、「稼ぐ力」に大きな差がある。

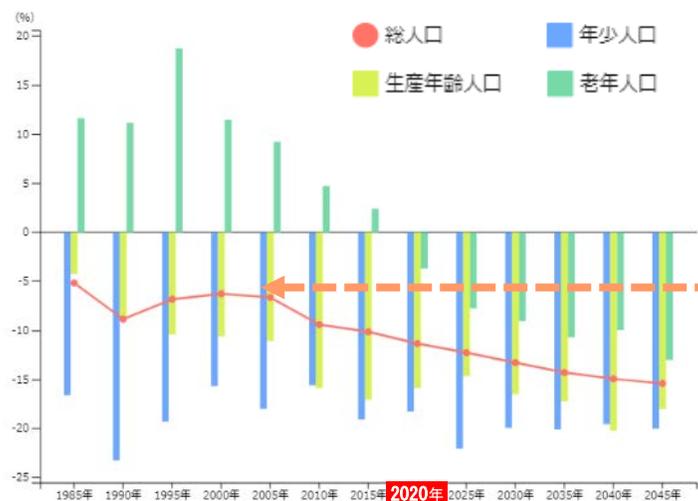


1 現状と課題の認識

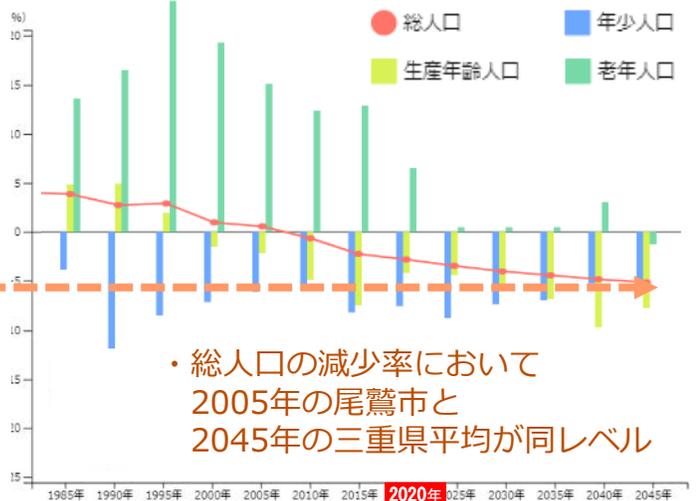
1-4. 課題② 顕著な人口減少

① 尾鷲市と三重県平均値の人口増減率の比較 ※RESASより

■ 尾鷲市の人口増減率



■ 三重県平均の人口増減率

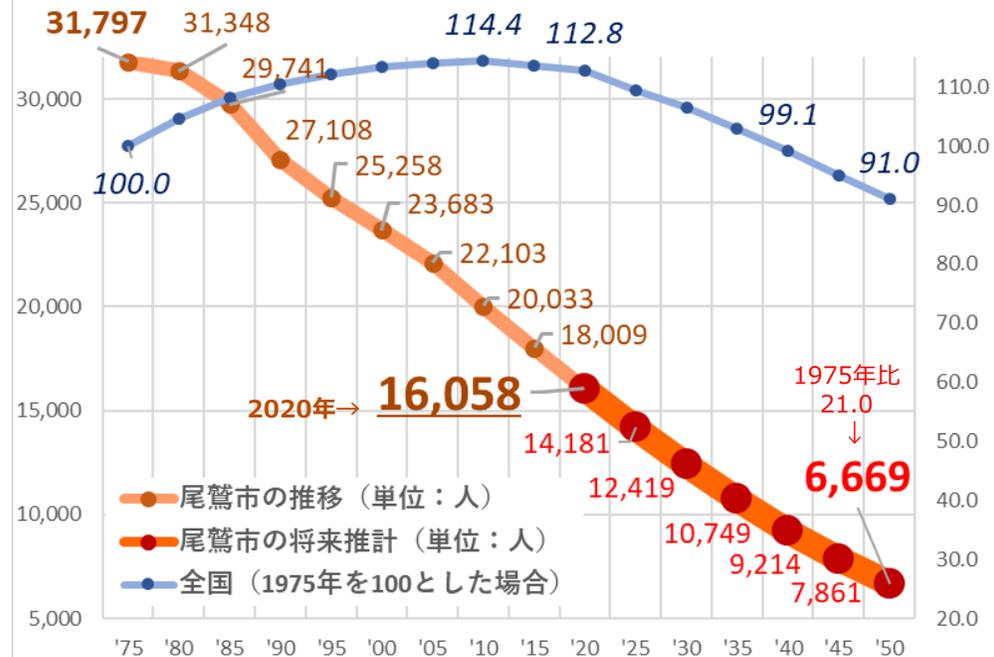


・ 総人口の減少率において
2005年の尾鷲市と
2045年の三重県平均が同レベル

- 県平均に比べて、尾鷲の減少幅がはるかに大きい
尾鷲の人口減少率が約40年先行している
- 高齢化はおろか、高齢者すらも減っていく

② 尾鷲市の人口推移と全国値との差

※RESAS、国勢調査、三重県人口推計調査、尾鷲市人口ビジョン、
国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(H29年推計)」より



- 2050年の予想
尾鷲の人口は7,000人以下になると予測される
全国値が1975年の1割減に対し、尾鷲は8割減

尾鷲がかかえる人口減少に関する諸問題は、日本の将来の縮図だ！！

1 現状と課題の認識

1-5. 課題③ 空洞化する産業

●「尾鷲のキーパーソン」へのインタビューで明らかになった課題

2021年9月25日(土)

・(協)尾鷲観光物産協会 理事 ・おわせ港まつり 実行委員長

尾鷲金盛丸 四代目当主 **村瀬晃建さん** (水産加工・商店経営)



尾鷲の魅力と課題を述べる村瀬さん



懇談する村瀬さん(左下)、北村メンバー(左上)、伊藤メンバー(右上)



伊藤

魚の生臭さが苦手で、お刺身が好きではないのですが、尾鷲のお魚は本当に美味しくて、克服できそうです！私と同じように、たくさんの方が尾鷲に来て、魚が食べられるようになってほしいです。



村瀬

うれしいです。やはり**尾鷲いちばんの産業は漁業**。
昔は、域内消費に対する販売で十分な利益が上がっていましたが、近年は人口減少により、昔のようにはいかない部分があります。
そのため、**家業を継ぐ若者も少なくなってきました**。

観光物産協会の理事として、尾鷲の観光についてどのようにお考えですか？



鈴木

何とんでも**中部電力(三田火力発電所)の撤退**が大きいです。観光に頼らずとも、市が豊かな時代もありました。観光のポテンシャルはあると思いますが、今後は**さらなる営業力が必要**だと考えています。



村瀬

地元を離れて、順調なサラリーマン生活を送っていたのに、尾鷲に戻ったのはどうしてですか？



西方

経営者が集まるセミナーに参加したのがきっかけ。そこで、「人生何のために生きるのか」考える機会があり、突き詰めた結果、「尾鷲のために何かしたい」との思いに至りました。



村瀬

尾鷲に戻って一番最初にしたことは、**観光物産協会に入会したこと、金融機関とのパイプを作ったこと**。
卸売業から、付加価値をつけることができる製造小売業への転換のため、投資をしました。昔は大まかな加工でも売れましたが、今は個食化かつ、すぐに食べられるものが求められます。
今の尾鷲は、チャレンジ精神旺盛で、何かを変えたいという気概を持った人を必要としています。



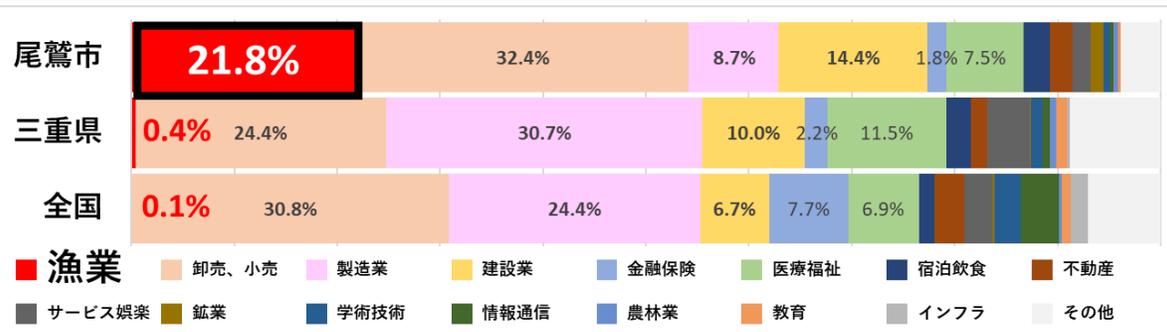
村瀬

1 現状と課題の認識

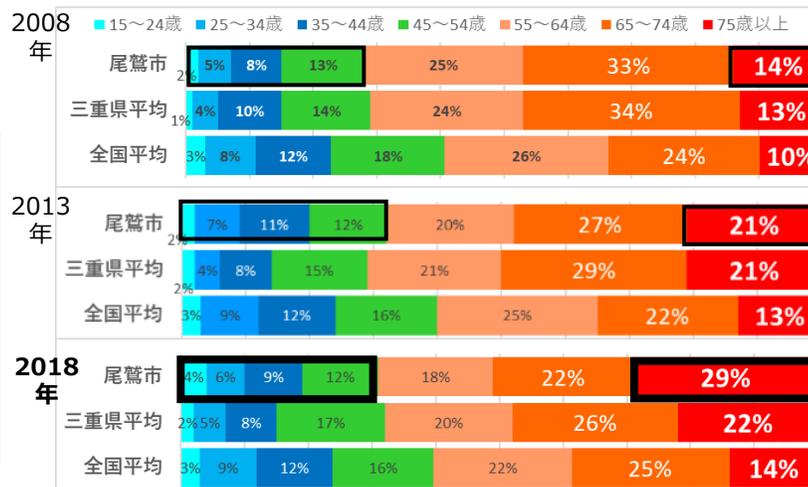
1-5. 課題③ 空洞化する産業

●村瀬さんの「危機感」

■企業単位売上高（産業分類別）（2016年） ※RESASより

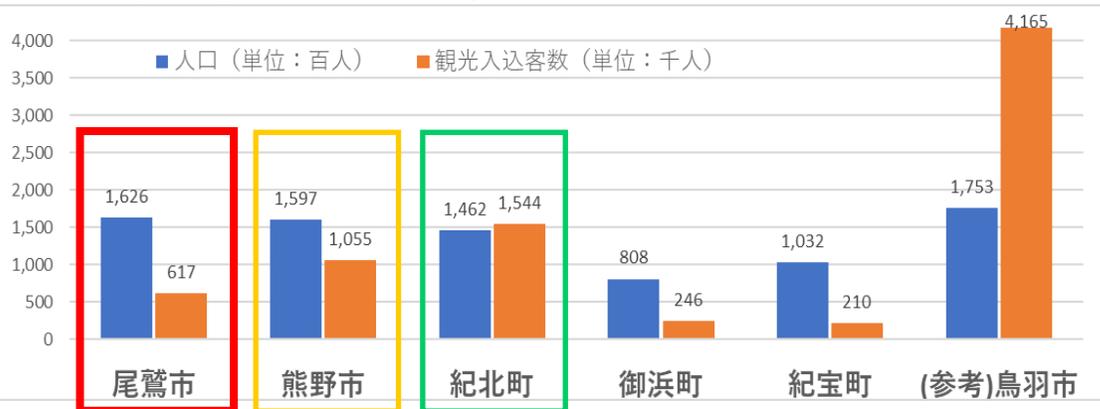


■海面漁業者就労者の年齢構成 ※RESASより



尾鷲は**漁業**が主要産業。しかし、高齢化が進み、就労者の**3割**が**75歳以上**。未来を担う若者や、働き盛りの30~50代も少ない。

■東紀州各市町の人口と観光入込数の相関（2019年） ※住民基本台帳、三重県観光レクリエーション統計（R1）より



近隣の熊野市や紀北町は、観光資源を活かした開発を進めた。

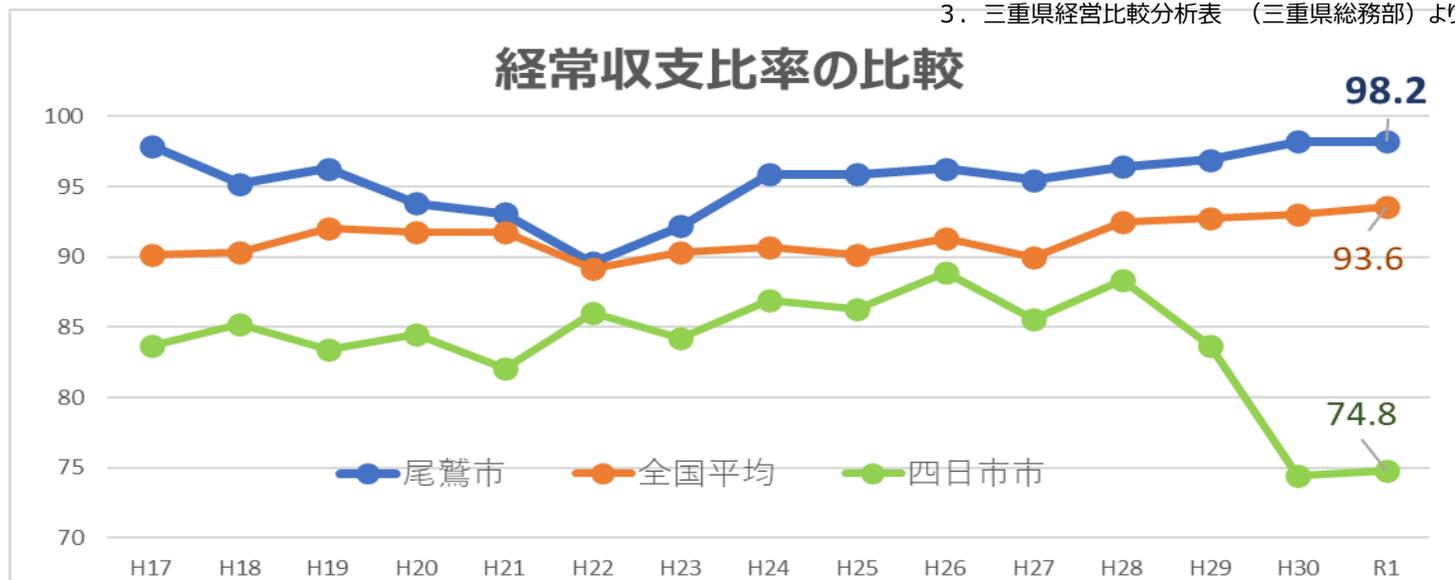
一方、工業中心の経済であった尾鷲市は、三田火力発電所の撤退(2018年)以降、**産業構造の転換**に迫られている。



1 現状と課題の認識

1-6. 課題④ 深刻な収支

1. RESAS
2. 財政比較分析表（三重県地域連携部）
3. 三重県経営比較分析表（三重県総務部）より



尾鷲の収支は危機的。持続的发展に「黄信号」

- 数字が100に近い → 市の収入は日常業務の運営でほとんど消えていく状態
- 課題解決や今以上の発展には、借金（市債）や、貯金（財政調整基金）の取り崩しに頼らざるを得ない状況
- 人口減少による歳入減に加え、高齢化による歳出（扶助費等）増が原因と考えられる

歳入確保が急務

移住や企業誘致は
簡単ではない

観光にも
力を入れていきたい

私たちが着目したのが

ふるさと納税

2 課題解決案

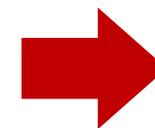
2-1. コンセプト



アフターコロナを見据え、
「モノ」だけでなく、「ヒト」の交流という
ふるさと納税の
新たな第2のサイクルを作る!

- 食べて終わりではなく、「出会い」「心」「想い」で尾鷲とずっとつながる
- 人口減は避けられないかもしれないが、「ファン」や「仲間」を増やすことができる

→ **今後一番長く、持続的に
おつきあいできる「ヒト」は?**



こども

2 課題解決案



2-2. ターゲット 市外または県外に在住の、小学生のお子様がいる家庭

2-3. 手法

- ・こども達への**教育**を、**ふるさと納税の体験型返礼品**として事業化
- ・「**夏休みの自由研究のお手伝い**」からスモールスタートする



なぜ、「教育」・「自由研究」・「ふるさと納税」なのか??

①尾鷲市へのふるさと納税は、近年大きく**伸びている!**



※尾鷲市税務課 (市議会発表資料より)

②尾鷲が最も賑わい、学校も休みで、ふるさと納税が最も低調な「**夏**」



※【入込】令和元年度「尾鷲市統計書」
【寄付件数】尾鷲市政策調整課へのヒアリングより推計

③地方の課題や、水産資源(おさかな)の将来について、子供のころの体験を通じて、早いうちから興味を持ってもらう →「**種まき**」

④体験型・自由研究のふるさと納税は、潜在的ニーズはあるが、どこも本気で取り組んでいない →パイオニアとして**先行者利益**を狙える



※「さとふる」ホームページより
2019年に初めて特集が組まれたが
まだ認知は低く、コロナで「仕切り直し」

自由研究のモデルプランをメンバーで検討し、現地で実現性の効果検証を試みた!

3 活動記録

3-1. 自由研究モデルプランの検討

【コンセプト】

～尾鷲を愛する「ちょっぴりおせっかいな**達人たち**」が、こどもにいろいろ教えてくれる～

名称	魚つりの名人	ハンドメイドアーティスト	もの知り博士	木の匠	干物工場の社長	民宿の板前さん
特技	魚つり 磯あそび	シーグラス工作	尾鷲の授業 観光案内	ヒノキ細工 お箸づくり	魚の加工 工場の自慢	お刺身づくり
ペルソナ	<p>漁師をしている。 最近息子が漁を手伝ってくれるので、ちょっとだけヒマになった。 あいた時間で、魚つりや、磯の生き物の観察のしかたを教えている。</p> 	<p>尾鷲に住む主婦。 絵や工作、手芸が得意。子供やパパが使う小物は、自分で作っちゃう。 シーグラスを使ったカワイイ工作を教えてくれる。海のゴミ問題にも詳しい。</p> 	<p>平日は尾鷲市内の信用金庫で仕事をしている。 尾鷲のことをいろいろ知っていて、何でも教えてくれる。 地元の人しか知らない観光名所にも連れて行ってくれる。</p> 	<p>大工をしている。 尾鷲の木を使って、おうちを建てたり、家具を作るのが得意。 尾鷲ヒノキを使ったお箸づくりを教えてくれる。</p> 	<p>干物などを作る水産加工の工場を経営している。 工場を見学させてくれて、魚を使った食品を作るところを見せてくれる。試食もできるかも。</p> 	<p>民宿で料理をつくるのがお仕事。 魚料理が得意で、釣った魚をさばくところを見せてくれる。 木の匠と作った、ヒノキの「マイお箸」を使って食べよう。</p> 

3 活動記録

3-2. フィールドワークのスケジュールと活動場所

実施日：2021年9月25日（土）

時刻	No.	場所	目的	備考
10:15	①	尾鷲集合		
10:20 ～ 12:15	②	尾鷲神社	参拝	樹齢千年のクスノキを観察
	③	天満浦突堤	釣り	釣り中級者向け トイレあり。景色も良い
	④	大曾根浦突堤	釣り	釣り初級者向け トイレなし
	⑤	弁財島	シーグラス 磯遊び	干潮時のみ渡島可能。 潮が満ちると帰り道がなくなるので 注意
	⑥	熊野古道センター	学習	飲食・物販・入浴施設について 一定の評価がある
13:00 ～ 16:00	⑦	向井地区	絶景ポイント	尾鷲湾が一望できる傾斜地。 地元の人しか知らない
	⑧	おとと	食事・土産	海の幸の味・価格について高評価
	⑨	行野浦 宮島公園	釣り・シーグラス 磯遊び	釣り上級者向け 干潮時の水位が問題
16:00	⑩	コメダコーヒー	村瀬氏インタビュー	Uターン理由、 尾鷲の現状等について
		解散		



**尾鷲市は
コンパクトシティ**

車で15分で行ける範囲に、

- ・市街地（商業地）
- ・駅とインターチェンジ
- ・住宅地（生活の拠点）
- ・豊かな自然（海・山・川すべて）
- ・古道センター（観光の拠点）

すべてまとまっており、効率が良い！

3 活動記録

3-3. 検証する内容

●今回の検証内容

『全て手ぶらで来て、すぐ楽しめる』

- ・時間の制約もあり、今回は、「釣り」、「シーグラス」、「もの知り博士」の3つの達人に絞る。
- ・「もの知り博士」は、ペルソナ設定のモデルとなった北村メンバーが担当！
- ・北村メンバーのお子様をゲストに迎えて検証！楽しく学んでもらうことはできるのか!?



	①釣り	②磯あそび	③シーグラス	④夢古道の湯
必要な準備	釣り道具、エサ、海の生き物図鑑	軍手、海の生き物図鑑	写真たて、紙粘土	入浴料、ハンドタオル
候補地	大曾根浦突堤(初級) 天満浦突堤(中級) 行野浦宮島公園(上級)	弁財島 行野浦宮島公園	弁財島 行野浦宮島公園	夢古道 (熊野古道センター)
遊び方	各魚種に得点設定、 釣果で総合得点10点以上を目指す。 危険生物は減点項目にして、 注意喚起を促す。	各生き物に得点設定、種類ごとに 写真を撮り、総合得点20点以上を 目指す。危険生物は減点項目にし て、注意喚起を促す。	各色に得点設定、 総合得点20点以上を目指す	
成果物について	釣った魚は民宿でさばいてもらい、 その日に食べる。	磯の生物は持ち帰らず、写真にとる。 貝殻等はお土産に	シーグラスや貝殻を持ち帰り、 観光物産協会写真立てを作成	—
今回のモデル	北村メンバーのお子さん			
保険について	傷害保険つきを検討			—
10:00	尾鷲観光物産協会着			
10:30	体験内容の説明			
11:00	街ブラ			
12:00	昼食			
13:00	体験①～④			
16:00	体験終了			
16:30	貸与品の返却			
17:00	民宿にて夕食・宿泊			
	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の運用では、①～④は組み合わせできるようにする。 ・各体験の費用は1,000円程度になるため、3人で3,000円、10,000円の返礼品で対応可能 釣果が多ければ多いほどお得になる計算 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <ul style="list-style-type: none"> 想定例 1. 父と子は釣り体験、母は一人『夢古道の湯』でリラックスタイム 想定例 2. 親子3人で釣り体験 想定例 3. 父と長男は磯遊び、母と長女はシーグラス探し 			
※2日目は海水浴や川遊びを楽しんでもらうことを想定				

3 活動記録

3-4. フィールドワーク 遊び方のルール設定

「ポイントラリー制」 → たくさん点をとろう。ゲーム感覚で楽しみながら学習！

釣り



- 1匹につき
- マアジ 2点
- ガシ 3点
- ゴマサバ 4点
- イサギ 5点

合計10点以上を目指そう！！

磯遊び



捕まえずに見つけよう！！

- ヒトデ 5点
- カニ 4点
- イサナガキ 3点
- ウニ 2点
- 貝・トドガ 1点

合計20点以上を目指そう！！

シーグラス



- 1個につき
- 赤・紫 5点
- 青・黄色 4点
- 緑・水色 3点
- 透明 2点
- 茶色 1点

合計20点以上を目指そう！！

危険な生き物



危険

これが釣れたら裏を付けよう！

!! 危険な海の生物

見慣れない魚や生物は絶対素手で触らないこと！

刺を切ってもそのまま海に落とすとして帰ってもらいましょう。

刺されたら詳しくはこちら

Instagram: @fish_awareness

QRコード

QRコード

3 活動記録

3-5. フィールドワークでの検証 (尾鷲神社・釣り体験・熊野古道センター・昼食)



3 活動記録

3-6. フィールドワークでの検証 (磯遊び・シーグラス)



①材料準備

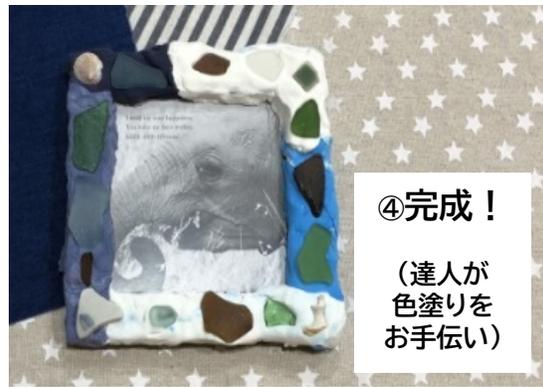
紙粘土とフォトフレームは100均で調達



②シーグラスの位置決め



③ただいま作成中



④完成!

(達人が色塗りをお手伝い)

Q: シーグラス探しと写真立て作りをやってみて、どうでしたか?

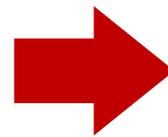
とても楽しくて、いんたを、つくっているときマシグラスを拾い
をしているときも、ずっとやりたいなと思っていました。

(ものすごく楽しくて、写真立てを作っているときや、シーグラス拾いをしている時も、
ずっとやりたいなと思いました。)

Q: シーグラスは、海に捨てられたビンが割れて、波にもまれて丸くきれいになったものです。どう思いましたか?

シーグラスはかわいい形なのに、なぜゴミというものに仲間入りをしたのか不思議です。

(シーグラスはかわいい形なのに、なぜゴミというものに仲間入りをしたのか不思議です。)



こどもの反応は上々。学びもあり、
有効な施策と言える!

3 活動記録

3-7. ヒアリングによる検証

① 達人になっていただけませんか？ → 我々の事業構想をぶつけてみた

①工場見学

- ・市内の6社に提案したところ、**4社が前向き** さらに1社は見学だけでなく、実際の仕事に近い、「キッズニア」のような体験にも前向き。
- ・将来的には見学のみならず、「こどもしごと体験」が可能なコンテンツに成長させたい



②ヒノキ細工

- ・尾鷲観光物産協会が、主催事業として市内の物産店での「マイ箸づくり」を実施可能。



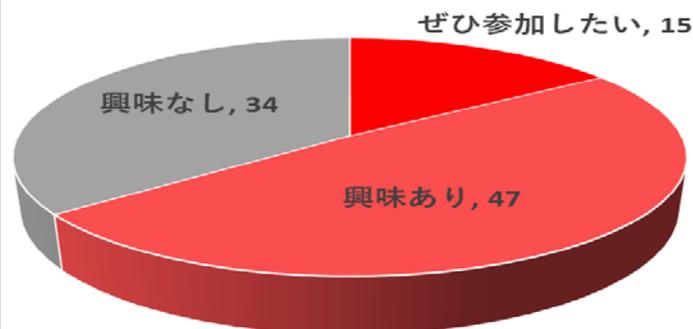
③民宿

- ・もともと釣り客が持ち込む魚を調理することが多く、さばくところの見学や説明は経験豊富。市内のほとんどの民宿が、安全面での配慮ができれば事業参加は十分に可能との返答。

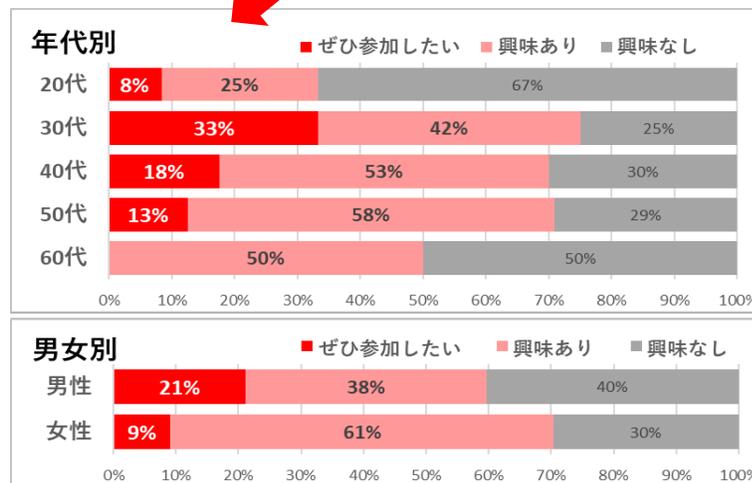
② アンケート調査：利用者の視点

Eグループのメンバーが、自らが所属する法人や学校内でアンケートを実施。(94名回答)

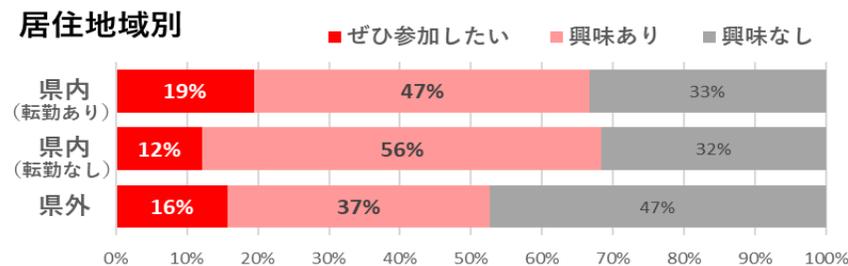
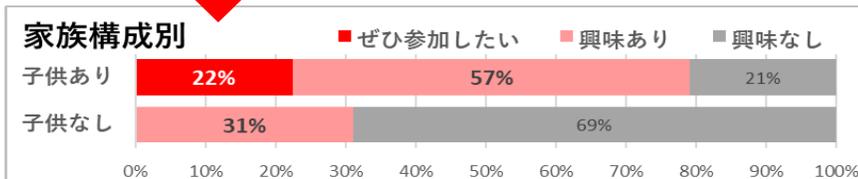
尾鷲の自由研究体験のふるさと納税に興味がありますか？



約7割が体験に前向き



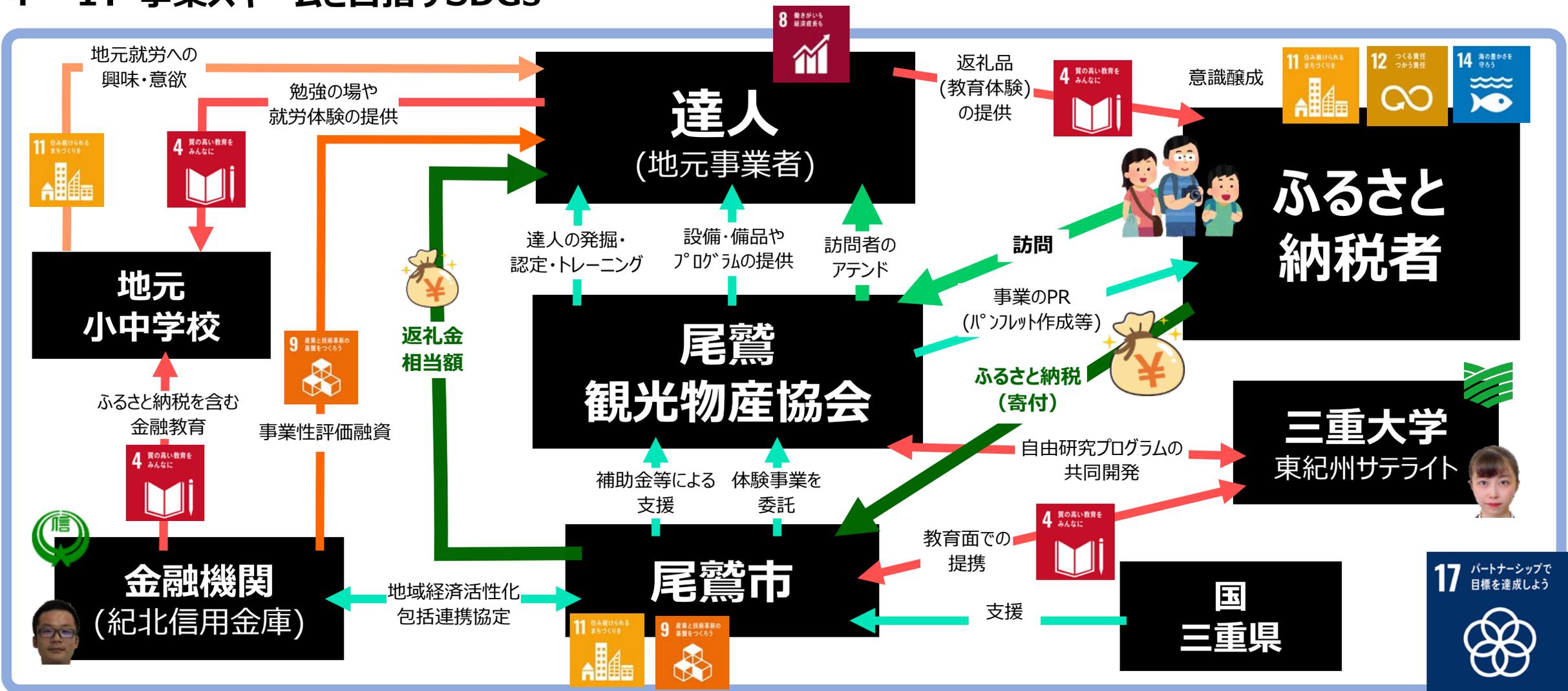
子育て世代の興味関心が特に高い



親にも支持してもらえる事業である

4 提案実現に向けてのロードマップ

4-1. 事業スキームと目指すSDGs



4 提案実現に向けてのロードマップ

4-2. 長期ビジョン

フェーズ1

2021年度

「モノ」の納税者に 体験型返礼をPR

- ①尾鷲市の「モノの返礼品」の納税者へパンフレットを封入
(昨年度実績ベースで約26,000枚)
- ②ふるさと納税サイトや、尾鷲市をはじめとする各団体で広報活動を展開



※地元小学生での実績づくりのイメージ
小学生の漁港見学「広報おわせ」令和2年11月号より

フェーズ2

2022年度

地元小学生とコラボし、 モデル構築・実績作り

- ①夏休みの前に、**地元の子どもを対象にテスト開催**を行い、課題の検出と、プランのブラッシュアップを実施
- ②地元の産業を知り、地元の人と交流することで、地元就労の意識を醸成し、将来的な人口流出防止につなげる

自由研究☆アイデアコンテスト in 尾鷲市!!



フェーズ3

2022～23年度

事業化スタート

- ①参加者のSNSによる拡散や、マスコミ取材等の波及効果によるイベント定着を狙う
- ②尾鷲＝自由研究の認知度向上のため、「自由研究☆アイデアコンテスト」を実施。
- ③尾鷲市の観光政策・教育政策とも連携を深める



※大学生との共同開発プログラム、尾鷲市政策との連携イメージ
「市有林でのサバイバルゲーム」「滝あそび」(地元小学生対象)
(尾鷲市水産農林課アクティビティ部会・事業報告資料より)

フェーズ4

2024年度～

事業規模拡大と関係人口の増加

- ①三重大学(教育学・環境リテラシー学等)との連携による、学生とのプログラム共同開発
- ②旅行会社や教育委員会にもアプローチし、**野外学習や修学旅行を誘致**。夏休み以外の「閑散期需要」を掘り起こす。



目指す
未来へ

4 提案実現に向けてのロードマップ

4-3. 市場性



● = 2時間圏内
● = 3時間圏内

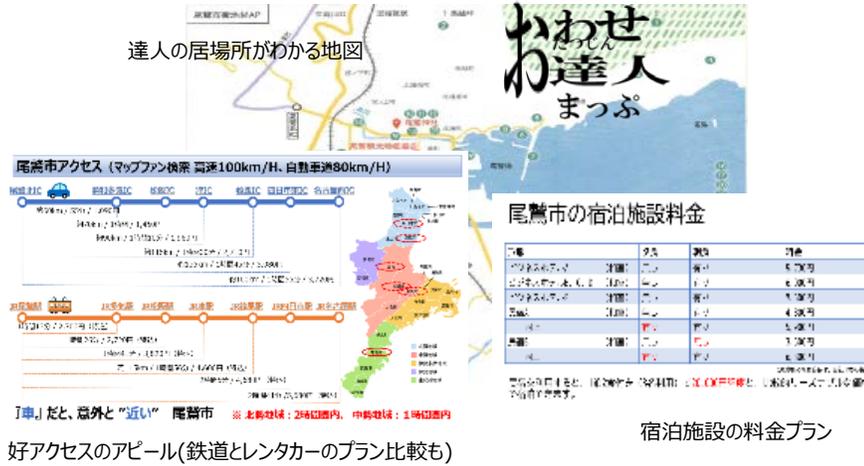
尾鷲市へのアクセスが
3時間以内の圏内には、
117万人の小学生が在住

愛知県…41万人 三重県北部… 7万人
大阪府…43万人 岐阜県南部… 7万人
奈良県… 7万人 和歌山県… 4万人
滋賀県… 9万人

※文部科学省 令和元年度「学校基本調査」より

4-4. 納税促進・訪問者増に向けての施策

① パンフレットの充実



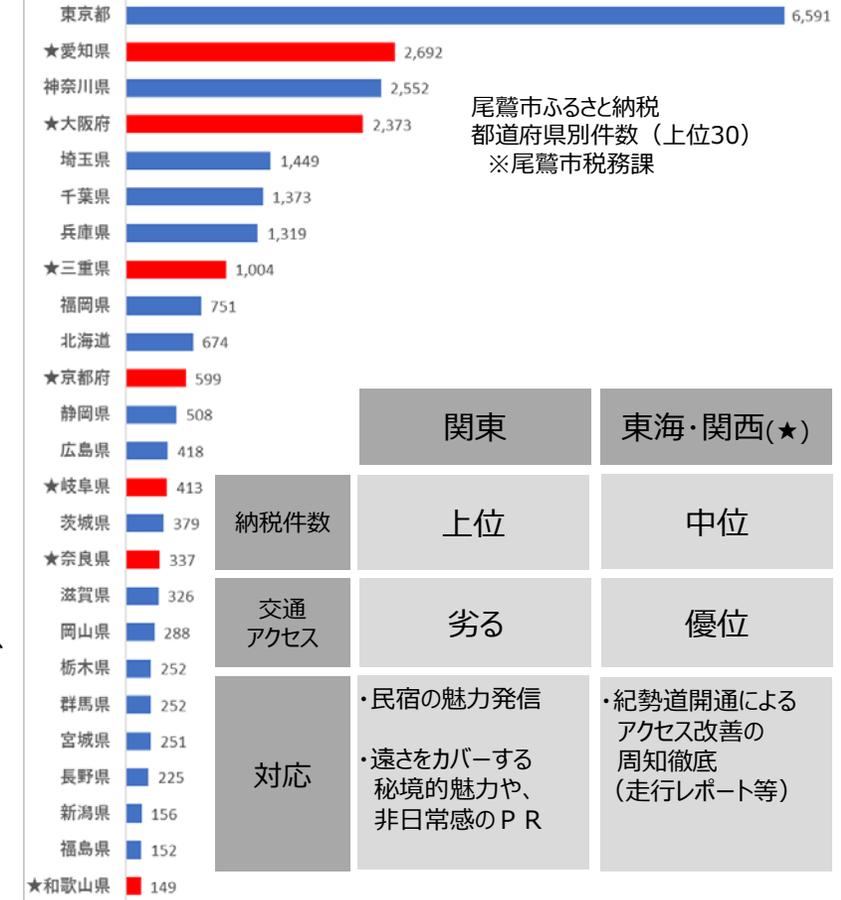
③ SNSのフル活用



※体験中に撮影した
スマホの写真や動画をお預かりし、
30秒程度の「ショート動画」に
編集してプレゼントする
→自分のSNSで発信、
自慢してもらう

→尾鷲の
30秒CMの完成

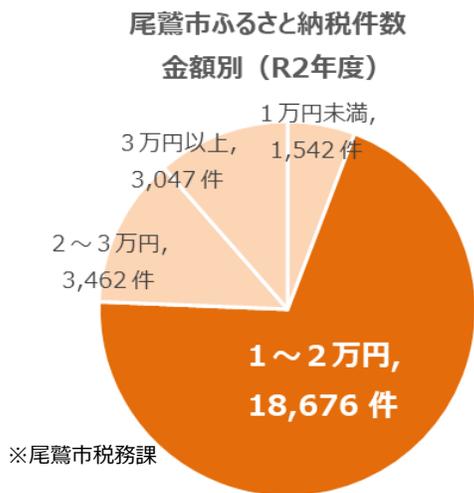
② 交通アクセス・宿泊の懸念払拭



4 提案実現に向けてのロードマップ

4-5. 収支計画

初期投資が極めて少ない



●現在の寄付金額のボリュームゾーンと体験の内容を勘案し、

寄付金額10,000円、返礼率30%に設定



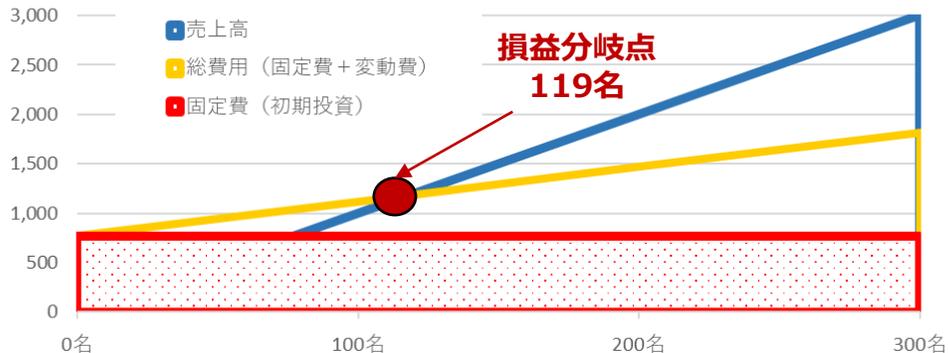
投資は備品・材料費とパンフレット作成費のみ

→尾鷲の「**現有資産**」と「**人間力**」で勝負する、**フィジビリティ（実現可能性）重視の提案**

収支シミュレーション (金額: 円)

参加人数	1	100	200	300
売上高 (@10,000円)	10,000	1,000,000	2,000,000	3,000,000
変動費計	3,500	350,000	700,000	1,050,000
達人への返礼金(30%)	3,000	300,000	600,000	900,000
材料費・餌代 (@500円)	500	50,000	100,000	150,000
固定費計 (初期投資)	770,000	770,000	770,000	770,000
パンフレットデザイン	200,000	200,000	200,000	200,000
パンフレット印刷 (@20円×26,000枚)	520,000	520,000	520,000	520,000
釣り竿 (10本)	50,000	50,000	50,000	50,000
収支	▲ 763,500	▲ 120,000	530,000	1,180,000

損益分岐点モデル (金額: 千円)



119名以上の参加で黒字化 (夏休み中に、1回あたり10人、12回の開催)

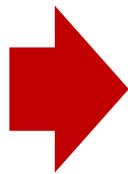
- ・初期投資回収のハードルが低いため、**事業開始1年目から黒字**を見込める。
- ・さらに参加人数が増え、事業が活発になればなるほど、市の財源も増加。

4 提案実現に向けてのロードマップ

4-6. 目指す未来 ～定住人口の増加～

① 課題は多い

- 低所得
- クルマ社会
- 教育
- 医療



② 提案

税収増をデジタルへの投資に！

- テレワーク
- 自動運転・ドローン
- 高度遠隔教育
高度遠隔医療

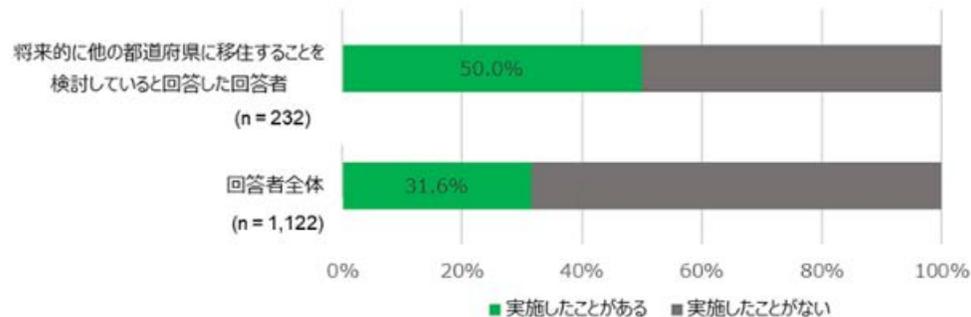
尾鷲在住のまま都市部の企業で就労

クルマを持たずに暮らせる

5G技術により
都市部との格差の軽減・解消

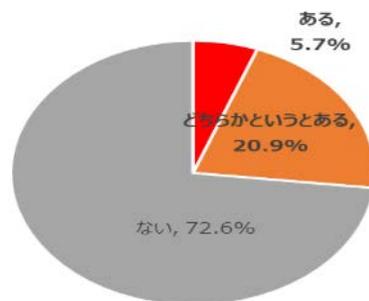
③ 移住への興味は一定数ある

① 将来的に他の都道府県への移住を検討している人の「ふるさと納税」に関する関心は高い



※NTTコム リサーチ (No.245)
「ふるさと納税」に関する調査結果 (2020年9月) より

② 都市在住者の4分の1に農山漁村の移住願望あり



※時事通信 2021年10月1日
調査：内閣府

④ さいごに

暮らしが都会と変わらなくても
デジタルをオフにすると
世界が切り替わる



一瞬で豊かな自然に囲まれ
デジタルデトックス&リラックス

ぜひ尾鷲へ！